



追想五断章

米澤穂信

「是非買わせていただきたいのですが」
古書店に勤める菅生は、ある雑誌を探しているという女性に出会う。死んだ父が書いたという五つの「結末の無い物語」。彼女は、バラバラになったそれらの結末を持っていた。どの結末がどの物語のものなのか。雑誌を探していくうちに、彼女の父が二十年以上前の未解決事件の容疑者であったことがわかる。物語に結末が与えられるとき、それは何を示すのか。あまり知られていない本ですが、是非手に取って貰いたい一冊です。

推薦者 3年渡部

よるのばけもの 住野よる

「おはよう」たったこれだけの言葉に力強さを感じたのは初めてでした。主人公あっちーは夜の間だけ黒く大きな化け物になってしまう。ある日の夜、次の日の宿題を取りに行くために夜の学校に忍び込み、そこでクラスでいじめを受けていた矢野と出会う。矢野はほぼ毎日夜の学校に居り、主人公も矢野に会うために夜の学校に忍び込むようになる。この物語は夜の間だけ関わり合う2人を中心に描いた物語です。昼間の学校では矢野に関わろうとしない主人公ですが、最後には...普通に読み進めても面白い本ですが、登場人物の発言の中には不可解なものも多く、何を言っているのか考えながら読み進めると更に面白いです。とても奥が

推薦者 3年高橋

新学期が始まり、一ヶ月が経ちました！新しい環境に少しずつ慣れてきた頃ですね。だんだんと忙しくなるこの時期ですが、是非本にも興味をむけてみてください！
これから一年間毎月おすすめ本を紹介しますのでどうぞよろしくおねがいします。

帰ってきたヒトラー

ティムール・ヴェルメシュ

もしも現代にヒトラーが甦ったら...！？
現代にヒトラーが甦った！周囲の人々は彼をそっくりの芸人だと思ひ込み、色々な人を巻き込んで、勘違いが勘違いを呼び、本当のコメディアンにさせられていく！！本場ドイツでも話題になった、ぜひ読んでほしい一冊です！

推薦者 2年山口

星やどりの声 朝井リョウ

この作品は「珈琲屋の人々」シリーズの著者の短編集です。短編等は、タイトル通り家族についての作品も多いですが、それだけではなく、年上の人に恋した少年の話や不倫などの作品も含まれています。心が温かくなるような作品もあれば、最後に嫌な感じが残り、人が信じられなくなるような作品もあり、そして、どの作品も何か考えさせられるものがあります。
短編集なので新しいジャンルにチャレンジしてみたかったり、気軽な読書をしてみたかったりする人にオススメです。

推薦者 2年伊勢田



ERIST

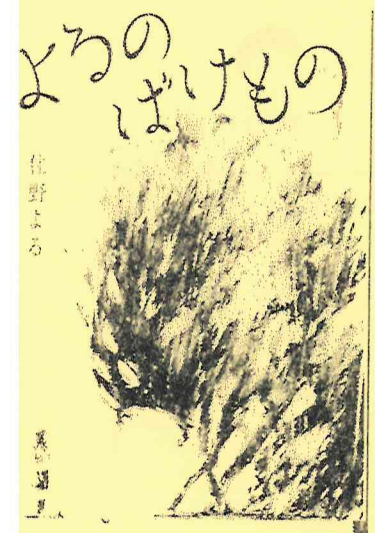
読者文庫



朝井リョウ

星やどりの声

読者文庫



深い本なので是非手に取って見てください！